

調布市長選挙選挙公報

調布市選挙管理委員会

未来につながる 環境先進都市へ

“みんな”でつくろう
我がまち調布!



いそべ

42歳 隆 たかし

5期20年の長期現市政にNO!

4期以上の多選禁止の条例策定で、長期政権の弊害を阻止

外環道崩落事故に対する市の姿勢について、信頼をとりもどす

●崩落事故の被害者に寄り添う姿勢を徹底

市民目線で調布駅前再開発を見直し みんなが住みたいまちをつくる

●総合福祉センタービル移転はいちど立ち止まって考えたい。市民参加で見直しを。
●障がいを持った方、高齢者、子ども、子育て世代に優しいまちに

佐須の田んぼや崖線樹林など 《調布ブランド》の自然環境の保持

●重要地点の公有化を確実に推進し、維持管理のシステムを構築

【プロフィール】1979年10月16日 神奈川県横浜市生まれ。1991年 東京都文京区立大塚小学校卒。1997年 私立獨協中・高等学校卒。2004年 日本大学生物資源科学部 海洋生物資源科学科卒。2004年 民間企業に就職。以降、サラリーマンの傍ら、災害ボランティアや環境教育活動を主軸に活動。小学校や中学校のPTA会長、周年行事の実行委員長等、多数の公益団体や環境団体での理事や長を歴任してきました。メディアに出演しつつ自身でもYouTube「野川の学校」を公開しています。家族は妻と三人の子供と保護犬ゆめと沢山の生き物達。

調布の魅力発信し、 おもわず立ち寄りたくなる にぎわいのまちづくり

●地産地消の推進。マルシェ開催。駅前の広場の有効活用。
●環境教育拠点として、体験型の水族館を誘致。全国の子どもや教育者の呼び込み、環境教育ツーリズム等、観光拠点としても活用。

自然と文化をまもる! 水害と地震に強いまちづくり

●ゲリラ豪雨対策の実施。市民と協働の防災拠点、避難計画、避難所の整備拡充

子ども・若者の未来に投資! 次代の調布を育てます

●体験型環境学習の導入。調布の自然(多摩川、野川、多摩川崖線、カニ山など)を活用したプログラム
●子どもの貧困解消を進める。一人親フォローアップ制度の拡充。大学生ベンチャーの支援。

魅力あふれる豊かな調布をつくり・つなげます!

◆ 効果的なコロナ対策の継続

◆医療機関等と連携した実効性ある感染防止対策の実施
◆子育て世帯等の市民生活支援 ◆市内経済の再活性化支援

◆ 街づくりの着実な推進

◆駅前や鉄道敷地整備によるにぎわい・うるおい空間の創出
◆東部地区の交通環境整備の促進

◆ デジタル化による市民の利便性向上

◆市民との協働による地域情報化の推進
◆デジタル化で「どこでも市役所」の実現

◆ ゼロカーボンシティ調布の推進

◆再生可能エネルギー活用促進
◆プラスチックゼロ運動の推進

◆ 市民の安全・安心の確保と生活支援

◆外環道問題への対応 ◆災害に強いまちづくりの推進
◆医療費助成を高校生へ拡充 ◆京王多摩川駅前に総合的な福祉の拠点を整備

「長友市政 20 年の実績」をホームページで公開しています ▶ <https://nagatomo.online>

長友市政 20 年の実績 公約達成率 94% (全 150 公約中 141 達成)

◇◇施策の主要実現例◇◇京王線地下化の実現/中学校給食の開始/全小中学校にエアコン設置(体育館含む)/クリーンセンター跡地の活用(ふじみ交流プラザ開設)/全福祉圏域に地域福祉コーディネーターを配置/認可保育園の定員拡大(50か所増設4100人余)/学童クラブ27か所増設/障害児学童クラブを開設/全小・中学校に1人1台のタブレット配備/受動喫煙防止条例を制定/「映画のまち調布」の推進/深大寺・佐須地域の里山保全/ゼロカーボンシティ宣言/財政基盤の強化(借金減・貯金増)他

略歴

昭和27年生まれ。慶応大学法学部政治学科卒業。日本貿易振興会(JETRO)就職後26年間勤務。その間、留学および勤務でフランス、ベルギーに9年間滞在。3年間、中大非常勤講師(国際関係論)。著書「ゼミナール1992年 EC市場統合」「ゼミナール欧州統合」(いずれも共著、有斐閣) 現 調布市長(5期) 元 東京都市長会会長 趣味: 読書、スポーツ観戦 染地在住 妻・二女一男



長友よしき

無所属
69歳

◆現市長の改革継続を支持します!
高橋勝浩(稲城市長)
高野律雄(府中市長)
西岡真一郎(小金井市長)
松原俊雄(狛江市長)
河村孝(三鷹市長)

投票日 6月26日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで

ご注意いただきたいこと

- ・投票所には、入場整理券をお忘れなくご持参ください。
- ・入場整理券が届かなかったり、紛失した場合は、投票所で再発行しますので係員にお申し出ください。
- ・選挙権のない人が投票したり、他人の入場整理券を使用して投票するなどの不正行為は、処罰されます。

※投票できる方は、平成16年6月27日以前に生まれ、令和4年3月18日までに調布市に転入届け出をし、引き続き3か月以上調布市に住み、調布市の選挙人名簿に登録されている方です。

ただし、入場整理券があっても投票(期日前投票を含む)する前に調布市外へ転出した方は投票できません。

期日前投票をご利用ください

投票日当日、仕事やレジャーなどで投票所に行けない方は、右記の場所で期日前投票ができます。

入場整理券の裏面に「期日前投票宣誓書兼請求書」が印刷してありますので、あらかじめ記入してからお持ちいただくと、スムーズに投票できます。

入場整理券がお手元に届いていない場合も期日前投票所に備え付けの「期日前投票宣誓書兼請求書」をご利用いただくことにより、期日前投票をすることができます。

※市民プラザあくろすの駐車場及び駐輪場をご利用になる場合は、有料となります。ご了承ください。

選挙結果について

選挙結果は調布市ホームページに掲載します。

また、市内の各地域福祉センター及び図書館においても、選挙結果を配架します。

期日前投票所	時間	期間					
		6月20日	6月21日	6月22日	6月23日	6月24日	6月25日
市役所1階めじろホール	8:30~20:00	○	○	○	○	○	▲
市民プラザあくろす2階 市民活動支援センター	8:30~20:00	/	○	○	○	○	/
つづじヶ丘児童館ホール	8:30~20:00	/	○	○	○	○	/
深大寺地域福祉センター	10:00~17:00	/	/	○	○	/	/

○空いています ○やや混雑 ▲混雑(特に12:00~17:00頃)

調布市議会議員補欠選挙選挙公報

(選挙すべき議員の数 1人) 調布市選挙管理委員会

いまこそ
市政が

市民の味方に!

ウクライナのため、世界は「国連憲章守れ」で団結を。
憲法9条いかす平和外交を。「軍事費5兆円増」。

- 市政の約束**
- ① はたらく世代と中小企業を支えます。突然の雇止めなど、働き方の相談窓口を拡充。
 - ② 学童クラブ待機児の解消。給食費を無償に。
 - ③ ひとり親世帯や引きこもりの方への支援を拡充。
 - ④ 高校入学準備金を創設。公契約条例を制定。
 - ⑤ まちでも住み続けられるまちをめざします。補聴器購入費の助成創設。
 - ⑥ 行政窓口の対面サービス維持などデジタル難民対策。くらしに欠かせない公共交通の充実をすすめます。
 - ⑦ ミニバスの拡充。
 - ⑧ 市内全駅にホームドア設置。
 - ⑨ 外環道工事は中止へ。陥没事故被害者の立場にたち。
 - ⑩ 市の情報漏えい問題の徹底究明をすすめます。
 - ⑪ 情報漏えい問題の原因究明に背をむける限り、現市長は支持できません。

**ブラック企業を
経験した就職氷河期世代**

20年近く、出版社を中心に働いてきたものの、朝まで徹夜、低賃金、保障なき裁量労働など「ブラック企業」そのものでした。同じように激務にある「働き世代」のために力を尽くします。

アベノミクスの異常円安による物価高騰で苦しむ方々を支えます。年齢も性も多様なあらゆる市民が「住んで良かった」と思える調布市をめざします。

藤田つとむプロフィール 1977年4月生れ。都立柏江高校、桜美林大学国際学部卒。大手出版社、制作会社などを中心に会社員として働く。現在、日本共産党 調布市 雇用とくらし対策チームリーダー。つじけ五任在任。趣味はサッカー観戦、スニーカー集め。



日本共産党
藤田つとむ
ふじたか

● 創立100年 はたらくものの味方 日本共産党 ●
企業献金うけとらず、自公政権の「新自由主義」施策押し付けに市議会で闘います
日本共産党調布市議団 岸本なお子 雨宮幸男 むとう千里 坂内淳

国民民主党 つかろう、新しい答え。市議会議員候補
未来は、今育てる
子どもたちの輝かしい未来のために



基本政策と3つの目標

**保育体制の安定と充実
保育料補助の拡大**

ワンオペ育児の悩みや辛さを少しでも解消したい!

定期保育や一時預かりを積極的に利用できるよう、ベビーシッター及び家事・育児支援サービス利用料助成を拡充し、働く保護者の育児負担の軽減を実現します。

また、保育の質の充実のために、保育園で働く方々の待遇改善にも取り組みます。

**通園・通学路の
安全性向上**

子どもたちだけでも安全に歩くことのできる道路にしたい!

交通量が多いにも関わらず、狭い道路は、歩行者部分を十分確保できるように働きかけを行います。また、人通りのある道路への照明設置等の防犯対策を強化し、不審者の抑止、通行する人に嫌な思いをさせないインフラ構築に取り組みます。

**安心して子どもが
通える教育環境を**

子どもたちがのびのびと成長できる調布にしたい!

不登校支援の充実、特別支援学級への支援強化、いじめ・虐待の未然防止の取り組みや、子ども食堂への支援拡充を通じて、医療ケアが必要な子どもや、ハンデキャップのある子どもをサポートし、子どもとその保護者の育児負担の軽減も目指します。

山根洋平(やまね ようへい) プロフィール

昭和59年(1984年)生まれ。山口県立山口高校卒業後、山口大学教育学部入学。在学中ドイツ・エアランゲン大学に1年間留学。卒業後大学院に進学し、山口大学大学院人文科学研究科修了、修士(文学)。大学院修了後、東京都内に本部を置く特殊法人に就職し11年間勤務。在職中に育児休業を取得。その後、仕事と育児の両立のため、東京都内の民間企業に転職し、現在に至る。

世帯構成：育児中の妻、踏切と信号機に夢中な長男(3歳)、シャボン玉が大好きな長女(1歳)

国民民主党公認
山根洋平
37歳

調布の未来に みんなで投票



▲明るい選挙のイメージキャラクター「選挙のめいすいくん」

佐藤たかひこの政策

- 子育て・教育**
 - ① 子乗せ電動自動車用駐輪場の増設
 - ② 小学生の学童保育の拡充
 - ③ 小中学生へのICT教育の強化
 - ④ 文化・芸術・スポーツへの積極支援
- 地域経済**
 - ① 商店街・地場産業を中心とした産業振興
 - ② テレワークの浸透による郊外オフィス需要の取り込み
 - ③ 調布駅を東京都の新たなハブ駅へ
- 地域社会を守り、安心・安全な街をつくりまします。**
 - ① 職住近接による地域社会の活性化
 - ② お年寄りや活躍できる場所・機会の拡充
 - ③ 新型コロナウイルスへの継続的な対応
 - ④ 地震や水害などへの備えを意識した再開発
- 高度情報化社会に対応できる市政づくり。**
 - ① 市役所の高度情報化を推進
 - ② 情報弱者を作らない支援体制の構築
 - ③ 市議会議員の活動をSNSで積極発信
 - ④ 若者の政治参加を促すイベントの開催
- 行政改革・情報公開**

昭和60年生まれ。東京都出身。私立麻布中学・高校卒業。慶應義塾大学総合政策学部中退。フリーターを経て、明星大学教育学部卒業。大手学習塾・予備校に国語の講師として勤務。妻と2歳の娘との3人暮らし。

■所属団体 自由民主党調布総支部青年部(副幹事長) 公益社団法人調布青年会議所 調布市消防団第四分団

私たちが応援します。
自民党 伊藤達也 林あきひろ

期待と安心に
満ちた調布へ



佐藤たかひこ
36歳

自民党調布市議会議員
元木勇 大須賀浩裕 伊藤学 渡辺進二郎
鈴木宗貴 狩野明彦 大野祐司

調布市長選挙

調布市議会議員補欠

(選挙すべき議員の数 1人)

投票日 **6月26日(日)**
投票時間 午前7時から午後8時まで